

大震災で自噴停止の柳川温泉(大江)

新たに足湯 本格再開

東日本大震災後に自噴が止まり、新たに掘削された源泉で内風呂のみの仮営業を行っていた大江町の温泉施設「柳川温泉」が10日、足湯を設置するなどのリニューアルを行い、露天風呂を含めた本格的な営業を再開した。

同温泉は8月下旬に毎分180リットル、56・7度の新たな自噴が見つかり、10月20日に仮営業を開始した。今回のリニューアルでは、入り口付近に足湯を設置。また十分な湯量を確保するためのポンプ設置工事や、老朽化した外壁などの修復を行った。事業費は3189万円。

関係者によるテープカットの後、一番乗りで足湯を利用した近くの大沼洋子さん(70)は「あったかくてとても気持ちいい。住民の憩いの場になると思う」と満足を語った。同温泉を運営する町産業振興公社社長の鈴木



新たに設けられた足湯で談笑する地元住民ら
＝大江町・柳川温泉

広志副町長は「柳川バイパスの開通で、冬季節でもアクセスしやすくなった。足湯を看板の一つに掲げ、イベントを積極的に開催するなど誘客に努めたい」と話していた。